

【 9 月 5 日 (土) 室 蘭 民 報 (夕 刊) 1 面 】

五感を刺激 フラワーアート



フラワーアート作りで和やかなひとときを過ごした参加者

製鉄室蘭病院「園芸療法」楽しく リハビリ患者

室蘭年金受給者協会（齋藤亨会長）の会員6人が4日、室蘭市知利別町の製鉄リハビリ患者の会員の6人が4日、記念室蘭病院の回復期リハ

ビリテーション病棟を訪れ、患者ら11人にフラワーアートを指導した。参加者は花束や匂い袋を作り、和やかな時間を過ごした。同会副会長で、フラワーセラピスト園芸療法士の山本孝子さんが講師を務めた。

ユーカリやミニカスミソウ、ラグラスなど7種類の植物の茎に針金とフロラテープを巻き、周囲をレースの飾りで覆って小さな花束に仕上げた。また、ラベンターやシナモン、バラの香りのドライフラワーで匂い袋を作った。参加者は「かわいいわね」と、出来上がった作品を手に笑顔を見せていた。

フラワーアート指導は花の香りなどが五感を刺激し、回復を促進する園芸療法の一つ。同会が毎年ボランティア活動として同院で実施している。

（池田勇人）